

## 国際連合食糧農業機関（FAO）とのエロンゴ州への共同出張及び現地視察 （令和7年7月18日～20日）

令和7年7月18日～20日、麻妻大使は、タコウカン（Dr. Patrice Talla Takoukam）FAO 南部アフリカ調整官兼FAO ナミビア代表代理の招待を受け、ナミビア農業・漁業・水・土地改革省（MAFWLR）との協力の元、FAO が支援するエロンゴ州の受益者を対象としたステークホルダー・エンゲージメントと現地視察訪問に参加しました。水資源・土地改革省（MAFWLR）との協力の下、実施されました。

FAO と MAFWLR は、ナミビアの脆弱な農業コミュニティを対象とした開発、緊急支援、およびレジリエンス強化プロジェクトを実施しており、日本政府は過去3年間連続で主要なドナー国として貢献しています。

以下：エロンゴ州に共同出張した麻妻大使とタコウカン調整官が、受益者に対する農業資材の引渡しに立ち会う様子や、小規模農家受益者が運営する家禽と園芸生産施設を視察する様子の写真です。



